



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

統計法に基づく一般統計調査

秘

この調査票に記入された事項については、秘密を厳守し、統計以外の目的に用いることは絶対にありませんので、ありのままをご記入ください。



令和3年パートタイム・有期雇用労働者総合実態調査(個人票)

都道府県番号	事業所一連番号	※区分	個人番号
1	2	3	4

※区分は2頁の就業形態の定義により記載しています。

a 無期雇用パートタイム
b 有期雇用パートタイム
c 有期雇用フルタイム

- (記入上の注意)
- 1 脚注又は「職種分類表」(10頁)を参照して記入してください。
 - 2 特に断りのない限り、**令和3年10月1日**現在の状況を記入してください。
 - 3 調査票は黒か青のボールペンで記入してください。
 - 4 特に断りのない限り、該当する選択肢の番号を1つ選び、○で囲んでください。
ただし、回答欄が **1 2 3** のように網掛けになっている場合は、設問に従って複数回答をお願いします。
 - 5 数字を記入する場合は、**右詰め**で記入してください。(記入例 **3**年)
 - 6 **令和3年11月30日(火)**までに、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函してください。

問1 あなた自身についてお答えください。

(1) 性別

男性	女性
1	2

(2) 年齢(令和3年10月1日現在)

満 歳

(3) あなたの最終学歴についてお答えください。

(中途退学の場合は、その前の学歴の番号を選んでください。)

	中学	高校	専修学校 (専門課程)※	高専・短大	大学	大学院	在学中
最終学歴	1	2	3	4	5	6	7

※「**専修学校(専門課程)**」とは、専修学校で専門課程(高校卒を入学資格とする修業年限2年以上、通常専門学校と呼ばれる学校)を修了した人であり、専修学校(高等課程・一般課程)修了者はここには含めません。専修学校(高等課程)を修了した人は高校卒業と同じ扱いにしてください。また、ここでいう学歴には専修学校(一般課程)や各種学校(自動車教習所等)は除きます。

(4) 「**正社員**」(注1)として働いた経験はありますか。

ある	ない
1	2

(注1) 「**正社員**」とは、常用労働者のうち、パートタイム・有期雇用労働者(注2)を除いた正規雇用の労働者をいいます。

(短時間正社員を含みます。〔短時間正社員〕とは、無期労働契約を締結し、時間当たりの基本給及び賞与・退職金等の算定方法等が同種のフルタイム正社員と同等で、所定労働時間(日数)が短い正社員をいいます。))

(注2) 「**パートタイム・有期雇用労働者**」とは、「無期雇用パートタイム」「有期雇用パートタイム」「有期雇用フルタイム」全ての就業形態の労働者をいいます。(2ページの注3~5をご参照ください。)

問2 あなたの家族についてお答えください。

(1) 配偶者(事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない方も含みます)はいますか。

いる	1
いない	2

9

あなたの配偶者の就業状況等についてお答えください。

正社員 (正職員)	非正規雇用 労働者 (パート、ア ルバイト、契 約社員、派 遣社員等)	経営者 ・役員	自営業・自 由業	学生	無職(専業 主婦(夫)を 含む)
1	2	3	4	5	6

10

あなたの配偶者の昨年(令和2年1月～12月)の年収(税込)はどのくらいですか。

年収 なし	100万円 未満	100～200 万円未満	200～300 万円未満	300～400 万円未満	400～500 万円未満	500～600 万円未満	600～800 万円未満	800～1,000 万円未満	1,000万円 以上	わからない
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11

11

(2) あなたは誰かと同居していますか。同居している※家族の続柄について該当するものをすべて選んでください。

(配偶者には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない方も含みます。)

同居している※						同居して いない
配偶者	子ども		親	兄弟姉妹	その他	
	18歳未満	18歳以上				
1	2	3	4	5	6	7

12

※この調査における「同居している」とは、同一生計で同じ敷地に住んでいることをいいます

問3 あなたの生活は主に何によっていますか。

(該当するものがいくつかある場合は、最も収入の多いものを選んでください。)

主に自分の収入で暮らしている	主に配偶者の収入で暮らしている	主に親の収入で暮らしている	主に子どもの収入で暮らしている	その他
1	2	3	4	5

13

問4 現在の就業形態についてお答えください。

現在どのような就業形態で働いていますか。

無期雇用パートタイム(注3)	有期雇用パートタイム(注4)	有期雇用フルタイム(注5)
1	2	3

14

(注3)「無期雇用パートタイム」とは、期間を定めずに雇用されており、かつ、1週間の所定労働時間が同一の事業主に雇用されている通常の労働者(正社員)に比べて短い労働者をいいます。

(注4)「有期雇用パートタイム」とは、1か月以上の期間を定めて雇われている者であって、1年契約、6か月契約など期間を定めた労働契約により雇用されており、かつ、1週間の所定労働時間が同一の事業主に雇用されている通常の労働者(正社員)に比べて短い労働者をいいます。

(注5)「有期雇用フルタイム」とは、1か月以上の期間を定めて雇われている者であって、1年契約、6か月契約など期間を定めた労働契約により雇用されており、かつ、1週間の所定労働時間が同一の事業主に雇用されている通常の労働者(正社員)と同じ労働者をいいます。

問5 あなたが現在の就業形態で現在の会社で働き始めてからどれくらいの期間になりますか。

年 か月 (1か月未満の日数は1か月と数えてください。)

問6 あなたの現在の会社での出勤日数、労働時間等についてお答えください。

(1)、(2)ともに、規則、契約等で定められているあなたの出勤日数、所定労働時間を記入してください。

(1) 1週間の出勤日数

週 日

(2) 1日の所定労働時間

(残業は含まない)

1日 時間 分

(3) 令和3年9月に残業はありましたか。

現在の会社に勤めていた		現在の会社に勤めていなかった
残業があった	残業はなかった	
1	2	3

月間何時間残業をしましたか。

時間 (30分以上切上げ、30分未満切捨て)

問7 働いている理由及び現在の就業形態を選んだ理由についてお答えください。

(1) あなたが働いている理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため	01	
主たる稼ぎ手ではないが、	生活を維持するには不可欠のため	02
	子どもの教育費や仕送りの足しにするため	03
	住宅ローン等の返済の足しにするため	04
	家計の足しにするため(上記02~04以外)	05
自分の学費や娯楽費を稼ぐため	06	
資格・技能を活かすため	07	
以前の就業経験を活かすため	08	
生きがい・社会参加のため	09	
時間が余っているため	10	
子どもに手がかからなくなったため	11	
その他	12	

(2) 現在の就業形態を選んだ理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

自分の都合の良い時間(日)に働きたいから	01
勤務時間・日数が短いから	02
就業調整(年収の調整や労働時間の調整)ができるから	03
正社員を定年退職した後に再雇用されたから	04
専門的な知識・技能を活かせるから	05
簡単な仕事で責任も少ないから	06
すぐ辞められるから	07
正社員として採用されなかったから	08
正社員としての募集が見つからなかったから	09
家庭の事情(育児・介護等)で正社員として働けないから	10
仕事を辞めてからの期間が長く正社員として働く自信がないから	11
正社員として働くことが、体力的に難しいから	12
正社員のような責任や人事異動を課されて働くことが困難・負担だから	13
やりたい仕事がたまたまパートタイム・有期雇用労働者としての雇用だったから	14
転勤がないから	15
その他	16

23

問8 あなたの給与は、令和3年10月1日現在どのように決められていますか。

該当するものを1つ選択してください。

時間給	1
日給	2
月給	3
歩合給・その他	4

24

※現在勤務している会社(この調査票を渡された会社)についてお答えください。

問9 昨年1年間(令和2年1月1日～12月31日)に現在の就業形態で働いて得た年収(税込)はどれくらいでしたか。

1万円未満は千の位を四捨五入して記入してください。昨年1年間、現在の就業形態で働いていなかった場合は0を記入してください。2つ以上の会社で「パートタイム・有期雇用労働者」として働いた場合は、合計額を記入してください。また、正社員として働いて得た収入は除いてください。

--	--	--	--

万円

25

問10 雇用保険、社会保険の加入についてお答えください。

(1) あなたは現在、雇用保険に加入していますか。(別の会社で加入している場合も「加入している」を選んでください。)

加入している	加入していない	わからない
1	2	3

26

(2) あなたは現在、社会保険(①公的年金及び②公的医療保険)に加入していますか。

① 公的年金の加入状況

「厚生年金保険」の被保険者になっている(別の会社で加入している場合も含みます)	1
配偶者の加入している「厚生年金保険」の被扶養配偶者になっている(国民年金第3号被保険者)	2
上記以外で、国民年金の被保険者(国民年金第1号被保険者)になっている	3
公的年金に加入していない	4

27

② 公的医療保険の加入状況

被用者保険(健康保険、共済組合、船員保険)に本人が被保険者として加入している(別の会社で加入している場合も含みます)	1
家族が加入している被用者保険(健康保険、共済組合、船員保険)の被扶養者になっている	2
国民健康保険に加入している	3
後期高齢者医療制度に加入している	4
公的医療保険に加入していない	5

28

問11 あなたは、過去1年間(令和2年10月～令和3年9月)のうちに就業調整(年収の調整や労働時間の調整)をしましたか。

就業調整をしている	就業調整をしていない			わからない
	年収、所定労働時間が要件に達していないため就業調整の必要がなかった	年収等を確保するために	その他	
1	2	3	4	5

29

就業調整をした理由について、該当するものを**すべて**を選んでください。

自分の所得税の非課税限度額(103万円)を超えると税金を支払わなければならないから	1
一定額を超えると配偶者の税制上の配偶者控除が無くなり、配偶者特別控除が少なくなるから	2
一定額を超えると配偶者の会社の配偶者手当がもらえなくなるから	3
一定額(130万円)を超えると配偶者の健康保険、厚生年金保険の被扶養者からはずれ、自分で加入しなければならなくなるから	4
一定の労働時間を超えると雇用保険、健康保険、厚生年金保険の保険料を払わなければならないから	5
会社の都合により雇用保険、健康保険、厚生年金保険の加入要件に該当しないようにしているため	6
現在、支給されている年金の減額率を抑える又は減額を避けるため	7
その他	8

30

問12 あなたの現在の会社での**主な**仕事内容(職種)は何ですか。

10頁の「職種分類表」を参照してお答えください。

管理的な仕事	専門的・技術的な仕事	事務的な仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安の仕事	生産工程の仕事	輸送・機械運転の仕事	建設・採掘の仕事	運搬・清掃・包装等の仕事	その他の仕事
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11

31

問13 あなたは現在の会社で役職(何らかの役職名がある、部下がいる等)についていますか。役職についている場合、どのような役職ですか。あなたの立場にもっとも近いものを選んでください。

役職についている	所属組織の責任者等ハイレベルの役職(店長、工場長等)	1
	現場の責任者等中間レベルの役職(フロア長、部門長等)	2
	所属グループのみの責任者等、比較的一般従業員に近い役職(売場長、ライン長等)	3
役職についていない		4

32

問14 あなたの会社での正社員との関係についてお答えください。

あなたの会社に、あなたと業務の内容及び責任の程度が同じ正社員はいますか。該当するものを**すべて**を選んでください。

「業務の内容及び責任の程度が同じ」には、通常従事する業務の内容だけでなく、作業のレベル(難易度)、求められる能力、責任や権限の範囲を含めてお考えください。トラブル発生時などの臨時・緊急の対応、シフトや与えられた権限といった業務上の責任について、正社員と同じように課されるか考慮するとともに、作業を行う上で必要な能力、作業の難易度、肉体的・精神的な負担なども含めて判断してください。

「人事異動等の有無や範囲が同じ」には、事業所間の転勤だけでなく、同じ事業所内での他部署や他の職種への異動の有無や範囲を含めてお考えください。実際に異動・転勤したかどうかだけでなく、将来にわたって異動・転勤をする見込みがあるかについて、事業所の就業規則や慣行などをもとに判断してください。また、転勤の範囲について全国転勤、エリア限定などの違いがあるかどうかも含めて判断してください。

業務の内容及び責任の程度が同じ正社員がいる	このうち、人事異動等の有無や範囲が同じ正社員がいる	業務の内容及び責任の程度が同じ正社員はいない	わからない
1	2	3	4

33

業務の内容及び責任の程度があなたと同じ正社員と比較して、あなたの賃金水準をどのように思いますか。

同等若しくはそれ以上の賃金水準である	1
賃金水準は低い、納得している	2
賃金水準は低く、納得していない	3
わからない(考えたことがない)	4

34

問15 あなたの現在の会社での教育訓練等についてお答えください。

(1) 現在の仕事を行う上で必要な知識等について、日常的な業務を通じた、上司、同僚、仕事仲間からの指導やアドバイス(OJT)をもらっていますか。

十分にしてもらっている	1
ある程度してもらっている	2
全くしてもらっていない	3

35

(2) 通常の仕事を一時的に離れた研修(Off-JT)はありましたか。該当するものを**すべて**を選んでください。

あった	今の仕事を行う上で必要な知識等についてのOff-JT	1
	今の仕事には直接関係のない、将来のキャリアアップのためのOff-JT	2
なかった		3

36

問16 あなたの現在の会社での福利厚生についてお答えください。

あなたが利用できるものは次のうちどれですか。該当するものを**すべて**選んでください。

給食施設(社員食堂等)の利用	更衣室の利用	休憩室の利用	人間ドックの補助	社外の活動(スポーツクラブの利用など)の補助	その他
1	2	3	4	5	6

37

問17 あなたの現在の会社での休暇の取得についてお答えください。

あなたが利用できる休暇制度はありますか。該当するものを**すべて**選んでください。

年次有給休暇	慶弔休暇	病気休暇・休職	特別休暇(夏季休暇、年末年始休暇など)	その他の休暇	わからない
1	2	3	4	5	6

38

これらの休暇は取得しやすいですか。

希望すればいつでも取得できる	希望しても取得しにくい	わからない
1	2	3

39

休暇が取得しにくい理由は何ですか。該当するものを**すべて**選んでください。

職場の上司に言い出しにくいから	職場が忙しいから	解雇など不利な取扱いがされそうだから	休暇を取っている人が少ないから	その他
1	2	3	4	5

40

問18 あなたは、法令に以下のような定めがあることをどれくらいご存じですか。

項目ごとに**それぞれ最も**当てはまるものを選んでください。

項目	よく知っている	だいたい知っている	聞いたことはあるが、よくわからない	知らない
事業主は、パートタイム・有期雇用労働者の雇入れの際、賃金や教育訓練制度、福利厚生施設の利用、正社員転換措置等について説明しなければならない。	1	2	3	4
事業主は、パートタイム・有期雇用労働者から求められた場合、正社員との間で 待遇※ の決定基準にどのような違いがあるか、違いがある場合はその理由等を説明しなければならない。	1	2	3	4
事業主は、パートタイム・有期雇用労働者の 待遇※ について、正社員との間で不合理な差を設けてはならない。	1	2	3	4
事業主は、パートタイム・有期雇用労働者の 職務内容 や 人事異動等の有無 や 範囲※ が正社員と同じ場合、正社員との間で差別的な 待遇※ としてはならない。	1	2	3	4
事業主、パートタイム・有期雇用労働者のいずれも、 待遇※ に関する紛争が起こった場合、都道府県労働局に紛争解決の援助を求めることができる。	1	2	3	4
有期労働契約を更新して通算5年を超えた場合、労働者の申込みにより、無期労働契約に転換できる。	1	2	3	4

※「待遇」とは、基本給、賞与、退職金、各種手当、福利厚生、教育訓練などをいいます。

※「人事異動等の有無や範囲」とは、事業所間の転勤だけでなく、同じ事業所内での他部署や他の職種への異動の有無や範囲のことをいいます。実際に異動・転勤したかどうかだけでなく、将来にわたって異動・転勤をする見込みがあるかについて、事業所の就業規則や慣行などをもとに判断してください。また、転勤の範囲について全国転勤、エリア限定などの違いがあるかどうかも含めて判断してください。

問19 あなたの現在の会社での待遇に関する説明についてお答えください。

- (1) 現在の会社でパートタイム・有期雇用労働者として雇われるとき(更新時含む)、会社(職場の上司又は人事担当者等)から、あなたの待遇(賃金、教育訓練、福利厚生等)について説明はありましたか。また、その説明内容はどうでしたか。

説明があった	説明内容を理解した	1
	説明内容を理解できなかった	2
特に説明はなかった		3
令和2年4月(中小企業で働いている場合は、令和3年4月)より前に雇われていた、又は令和2年4月(中小企業で働いている場合は、令和3年4月)以降に更新のタイミングがなかった		4

47

- (2) 令和2年4月(中小企業で働いている場合は、令和3年4月)以降、現在の会社であなたと正社員の待遇(賃金、教育訓練、福利厚生等)の相違の内容や理由について、会社(職場の上司又は人事担当者等)に説明を求めたことはありますか。また、その説明内容はどうでしたか。

説明を求めたことがある	説明があり納得した	1
	説明はあったが納得しなかった	2
	説明してもらえなかった	3
説明を求めたことはない		4

48

説明を求めたことがない理由は何ですか。最も当てはまるものをお答えください。

納得しているから	自分の労働条件に関心がないから	説明を求めると不利益な取扱いをされるおそれがあるから	説明を求めやすい雰囲気がないから	誰に説明を求めれば良いかわからないから	その他
1	2	3	4	5	6

49

問20 現在の会社や仕事をどのように考えていますか。

不満・不安がある場合には該当するものをすべて選んでください。

不満・不安がある	雇用が不安定	01
	勤続が長いのに有期契約である	02
	賃金が少ない	03
	所定労働時間が希望に合わない	04
	労働時間が不規則	05
	所定外労働(残業)が多い	06
	休暇がとりにくい	07
	業務量が多い	08
	仕事の責任が大きい	09
	自分の能力が活かさない	10
	昇進機会に恵まれない	11
	適正な評価を得られない	12
	正社員になれない	13
	教育訓練を受けられない	14
	福利厚生が正社員と同様の扱いではない	15
	職場の人間関係が良くない	16
	その他	17
不満・不安はない		18

50

賃金についての不満・不安について、すべてお答えください。

基本給が少ない	昇給がない(少ない)	賞与がない(少ない)	退職金がない(少ない)	手当(通勤手当、扶養手当、住宅手当など)がない(少ない)	有給の休暇制度(慶弔休暇、病欠休暇など)がない(少ない)	その他
1	2	3	4	5	6	7

51

上記の回答の中で、最も不満・不安の高いものは何ですか。該当する番号を1つ記入してください。

52

問21 今後の働き方についてお答えください。

あなたは、今後の働き方についてどのように考えていますか。

正社員になりたい		現在の雇用形態で仕事を続けたい		その他(自営業をしたい、正社員以外で正社員と同じくらいの時間働きたい等)	仕事をやめたい
現在の会社で	別の会社で	現在の会社で	別の会社で		
1	2	3	4	5	6

53

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

正社員になりたいと考える理由は何ですか。該当するものを**3つまで**選んでください。

より多くの収入を得たいから	1
正社員の方が雇用が安定しているから	2
キャリアを高めたいから	3
より経験を深め、視野を広げたいから	4
自分の意欲と能力を十分に活かしたいから	5
専門的な資格・技能を活かしたいから	6
家庭の事情(育児・介護等)による制約がなくなる(なくなった)から	7
その他	8

54

あなたが正社員になる際に、勤務時間・勤務地・職種を限定した「多様な正社員(限定正社員)」制度があれば選びたいと思いますか。選びたい場合、どの制度を選びたいですか。

該当するものを**すべて**選んでください。

選びたい	勤務時間を限定した(短時間)正社員(注6)	1
	勤務地を限定した(転勤のない)正社員(注7)	2
	職種を限定した(職務内容の変更がない)正社員(注8)	3
選びたいとは思わない(通常の正社員がいい)		4

55

(注6) 「勤務時間を限定した(短時間)正社員」とは、無期労働契約を締結し、時間当たりの基本給及び賞与・退職金等の算定方法等が同種のフルタイム正社員と同等で、所定労働時間(日数)が短い正社員をいいます。

(注7) 「勤務地を限定した(転勤のない)正社員」とは、事業所において、正社員に対して勤務地の変更(転勤)を一般的に行っている場合に、無期労働契約ではあるが、転勤するエリアが限定されていたり、転居を伴う転勤がなかったり、あるいは転勤が一切ないなど、通常の正社員とは異なる雇用管理を行う正社員をいいます。

(注8) 「職種を限定した(職務内容の変更がない)正社員」とは、無期労働契約ではあるが、担当する職務内容や仕事の範囲が他の業務と明確に区別され、限定されているなど、通常の正社員とは異なる雇用管理を行う正社員をいいます。

これで調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

令和3年11月30日(火)までに、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函してください。

職 種 分 類 表

6頁の問12については、この表を参照し、記入してください。

職種	職種内容
1 管理的な仕事	課(課相当を含む)以上の組織の管理的仕事に従事する者をいいます。 例えば、部長、課長、支店長、工場長など
2 専門的・技術的な仕事	高度の専門的水準において、科学的知識を応用した技術的な仕事に従事する者及び医療・法律・芸術その他の専門的性質の仕事に従事する者をいいます。 例えば、科学研究者、機械・電気技術者、一級建築士、プログラマー、システムエンジニア、医師、薬剤師、看護師、准看護師、栄養士、福祉相談員、保育士、介護支援相談員、公認会計士、税理士、教員、記者、編集者、デザイナー、写真家、速記者など
3 事務的な仕事	一般に課長(課長相当職を含む)以上の職務にあるものの監督を受けて、庶務・文書・人事・会計・調査・企画・運輸・通信・生産関連・営業販売・外勤に関する事務及び事務用機械の操作の仕事に従事する者をいいます。 例えば、一般事務員、銀行の窓口事務員、旅行会社カウンター係、案内係、フロント、集金人、メーター検針員、オペレーター、有料道路料金係、出札係など
4 販売の仕事	商品(サービスを含む)・不動産・証券などの売買、売買の仲立・取次・代理などの仕事、保険外交、商品の売買・製造などに関する取引上の勧誘・交渉・受注の仕事に従事する者をいいます。 例えば、一般商店・コンビニエンスストア・スーパー・デパートなどの販売店員、レジ係、商品販売外交員、保険外交員、銀行外交員、スーパー店長、新聞拡張員、不動産仲介人など
5 サービスの仕事	理容・美容・クリーニング・調理・接客・娯楽など個人に対するサービス、居住施設・ビルなどの管理サービス及びその他のサービスの仕事に従事する者をいいます。 例えば、理容・美容師、クリーニング工、調理人、ウェイター、ウェイトレス、接客係、ホームヘルパー、ベビーシッター、駐車場・ビル管理人、寮管理人、ツアーコンダクター、ビデオレンタル店員、広告ビラ配達員など
6 保安の仕事	社会・個人・財産の保護、法と秩序の維持などの仕事に従事する者をいいます。 例えば、守衛、警備員、監視員、建設現場誘導員など
7 生産工程の仕事	生産設備の制御・監視の仕事、機械・器具・手動具などを用いて原料・材料を加工する仕事、各種の機械器具を組立・調整・修理・検査する仕事、製版・印刷・製本の作業、生産工程で行われる仕事に関連する仕事及び生産に類似する技能的な仕事に従事する者をいいます。 例えば、生産設備制御・監視員、機械組立設備制御・監視員、製品製造・加工処理工、機械組立工、機械修理工、自動車整備工、製品検査工など
8 輸送・機械運転の仕事	機関車・電車・自動車・船舶・航空機などの運転・操縦の仕事、及びその他の関連する仕事、並びに定置機関・機械及び建設機械を操作する仕事に従事する者をいいます。 例えば、電車運転士、バス運転者、営業用乗用自動車運転者、貨物自動車運転者、船長、航海士・運航士、水先人、船舶機関長・機関士、航空機操縦士など
9 建設・採掘の仕事	建設の仕事、電気工事に係る作業を行う仕事、ダム・トンネルの掘削などの仕事、鉱物の探査・試掘・採掘・採取・選鉱の仕事に従事する者をいいます。(ただし、建設機械を操作する仕事に従事する者は「輸送・機械運転の仕事」となります。) 例えば、型枠大工、とび職、鉄筋工、大工、れんが積工、ブロック積工、タイル張工、屋根ふき工、左官、畳工、配管工、送電線電工、外線電工、通信線架線工、電信機据付工、電気工事従事者、土木従事者、坑内採鉱員、石切工、砂利採取員など
10 運搬・清掃・包装等の仕事	主に身体を使って行う定型的な作業のうち、運搬・配達・梱包・清掃・包装等に従事する者をいいます。 例えば、郵便・電報外務員、船内・沿岸荷役従事者、陸上荷役・運搬従事者、倉庫現場員、配達員、荷造工、清掃従事者、包装工など
11 その他の仕事	農・林・漁業の従事者及び上記以外の職種に従事する者をいいます。

※この表は、日本標準職業分類(平成21年12月統計基準設定)に基づいています。